

教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女 マララ・ユスフザイさん、史上最年少のノーベル平和賞受賞が決定！

■史上最年少、17歳の受賞

■手記『わたしはマララ』は学研パブリッシングより販売中

ノルウェーのノーベル賞委員会は、10月10日、パキスタンで女性が教育を受ける権利を訴えてイスラム武装勢力に銃撃されたマララ・ユスフザイさん（17）のノーベル平和賞授与を発表しました。

マララ・ユスフザイさんは、女子教育を認めないタリバンの圧力に屈せず、「女の子にも教育を、学校に通う権利を」と主張。2012年10月、下校途中のスクールバスで狙われ、頭を撃たれました。

一時は生死の境をさまようものの、奇跡的に命をとりとめ、その後も教育のための活動を続けています。

2013年に史上最年少でのノーベル平和賞ノミネート、この度、17歳で史上最年少のノーベル平和賞受賞となりました。

株式会社学研パブリッシング（東京・品川／社長：中村雅夫）は、マララ・ユスフザイさんのメッセージに賛同し、手記『わたしはマララ 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』を2013年12月に発刊、その後、株式会社ブックビヨンド（東京・品川／社長：織田信雄）より電子書籍版も配信を開始しています。

■「わたしはマララ」プロローグより

どの子がマララかって？

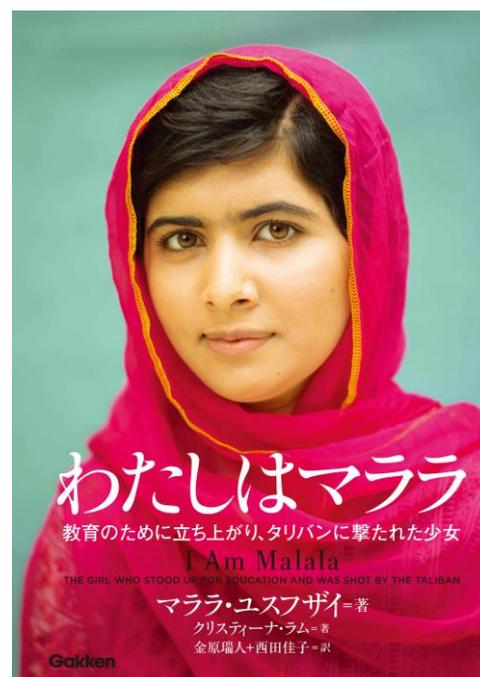
マララはわたし。

そしてこれがわたしの物語。

「どの子がマララだ？」男が厳しい声でいった。

みんなは黙っていたけど、何人かの目がわたしをみた。それに、顔を隠していないのはわたしだけだった。

男は黒いピストルを構えた。あとでわかったけど、コルト45だったらいい。何人かが悲鳴をあげた。



＜この件に関するお問い合わせ先＞

【内容に関するお問い合わせ】株式会社学研パブリッシング カルチャー事業室 担当：森田
TEL：03-6431-1473 / E-mail：y.morita@mmf.gakken.co.jp

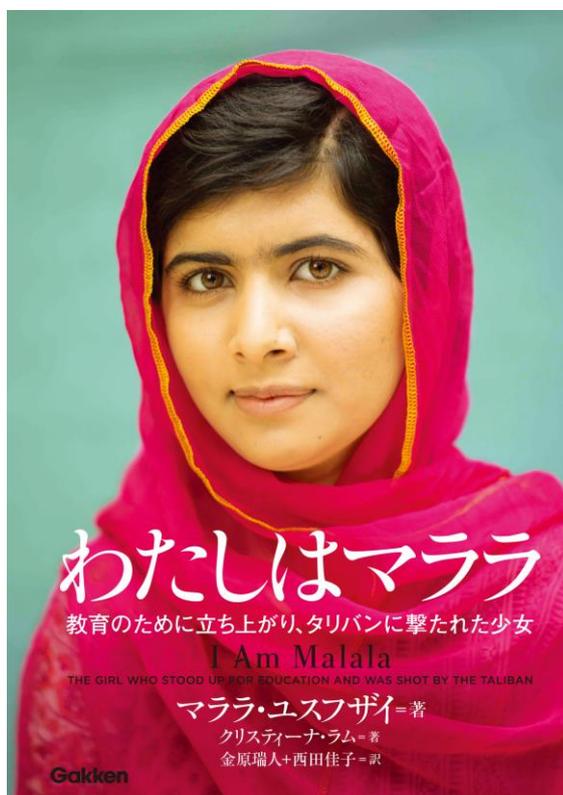
【電子書籍に関するお問い合わせ】株式会社ブックビヨンド コンテンツプロデュース部 担当：宮本
TEL：03-6431-1240 / E-mail：info@bookbeyond.jp

【その他のお問い合わせ】学研グループ 広報室
TEL：03-6431-1059 / E-mail：gpress9470@gakken.co.jp

【資料】

わたしはマララ

教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女



マララ・ユスフザイ(著)、クリスティーナ・ラム(著)、
金原瑞人(訳)、西田佳子(訳)

パキスタンで女性が教育を受ける権利を訴えて、イスラム武装勢力に銃撃された16歳の少女の手記。

世界150万部突破の国境を越えたベストセラー。

本書は、テロリズムによって生活が一変した家族の物語でもあり、女の子が教育を受ける権利を求める闘いの記録でもあります。

学校経営者であるマララさんの父親が、娘に教育を受けさせるために奮闘する姿や、男の子を大切に社会にありながら、娘に深い愛情を注ぐ両親の強さも描かれています。

銃弾に負けず、「1冊の本と1本のペン」を求めて闘うマララさんを支持する声が、今世界に広がっています。なお、本書の売り上げの一部は、マララ基金に寄付されます。

マララ基金 <http://www.malalafund.org>

※表紙画像ダウンロード⇒ <http://bit.ly/1w8ncKI>

書籍概要

発売日：2013年12月6日

定価：1,600円(本体)＋税

体裁：四六判 × 448頁

ISBN：9784054058460

発行：(株)学研パブリッシング

販売：(株)学研マーケティング

※お近くの書店・ネット書店にてお買い求めください。

■著者・訳者紹介

【マララ・ユスフザイ】

パキスタンで「女性が教育を受ける権利」を訴え、2012年10月、タリバンに銃撃された16歳の少女。その勇気と主張を支持する声は世界中に広がり、相次ぎ賞を獲得、ノーベル平和賞・史上最年少候補となる。

【クリスティーナ・ラム】

世界トップクラスの国際ジャーナリスト。オックスフォード大学、ハーバード大学卒業。イギリス海外通信員賞を5回受賞、ヨーロッパで最も権威のある通信員賞とされるバイユー戦争報道特派員賞受賞。

電子書籍概要

配信開始日：2014年1月23日

希望小売価格：1,333円(税抜)

ISBN：9784059125549

発行：(株)学研パブリッシング

販売：(株)ブックビヨンド

※電子書籍ストアBookBeyond、Kindleストア、楽天Kobo電子書籍ストアなど、各電子書籍ストアにてお買い求めください。

【金原瑞人】

1954年岡山市生まれ。法政大学教授・翻訳家。児童書やヤングアダルト向けの作品のほか、一般書、ノンフィクションなど、翻訳書は400点以上。訳書に『豚の死なない日』『青空のむこう』などがある。

【西田佳子】

名古屋市生まれ、東京外国語大学英米語学科卒業。英米文学翻訳家。訳書に〈キンケイド警視〉シリーズ、〈ミッシングパーソンズ〉シリーズ、『赤毛のアン』、『小公子セドリック』などがある。

■わたしはマララ 目次

プロローグ	わたしの世界が変わった日
第一部	タリバン以前
1	生まれたのは女の子
2	鷹のような父
3	学校が遊び場だった
4	村
5	わたしがイヤリングをつけない理由、パシュトゥン人が「ありがとう」といわない理由
6	ごみの山で働く子どもたち
7	わたしたちの学校をつぶそうとしたイスラム学者
8	大地震のあった秋
第二部	死の溪谷
9	ラジオ・ムッラー
10	キャンディとテニスボールとスワート溪谷の仏像
11	賢い女の子たち
12	血の広場
13	グル・マカイの日記
14	名ばかりの平和
15	スワート脱出
第三部	三発の銃弾、三人の少女
16	悲しみの溪谷
17	背が高くなりたい
18	女と海
19	戻ってきたタリバン
20	どの子がマララだ？
第四部	生と死のはざままで
21	「神様、マララをお願いします」
22	未知の世界へ
第五部	第二の人生
23	「バーミンガムにいる、あたまをうたれた女の子へ」
24	「あの子から笑顔を奪うなんて」
エピローグ	ひとりの子ども、ひとりの教師、一冊の本、一本のペン

謝辞

パキスタンとスワート県における主な出来事
マララ基金について
国連本部でのスピーチ
本書に掲載した写真と引用した文章について
訳者あとがき

■購入可能な電子書籍ストアと対応端末

配信ストアは、学び成長し続ける人のための電子書籍ストア「BookBeyond」(株式会社ブックビヨンド)をはじめ、Kindle ストア (Amazon.com, Inc.)、楽天 Kobo 電子書籍ストア (Kobo Inc.)、iBooks (Apple Inc.) など、各電子書籍ストアで販売しています。

ストア名	URL	対応端末 (OS)
BookBeyond	http://bookbeyond.jp/	iOS, Android™
Kindle ストア	http://www.amazon.co.jp/kindlestore	Kindle, iOS, Android™等
楽天 Kobo 電子書籍ストア	http://book.rakuten.co.jp/e-book	Kobo, iOS, Android™等
iBooks	http://www.apple.com/jp/ibooks	iOS